

## 27年3月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成27年 2月20日～ 27年3月10日

## 2. 調査実施方法

全国の国産材製材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
3月分の回答企業数は13社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## ア. 国産材

## (1) 製材用原木荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27年3月	4月	5月
入荷動向	スギ	18.8	18.8	25.0
	ヒノキ	0.0	8.3	8.3
	カラマツ	50.0	0.0	0.0
	トドマツ	25.0	0.0	0.0
消費動向	スギ	△ 7.1	△ 14.3	△ 14.3
	ヒノキ	△ 10.0	△ 10.0	△ 10.0
	カラマツ	50.0	50.0	50.0
	トドマツ	25.0	0.0	0.0
在庫動向	スギ	21.4	28.6	28.6
	ヒノキ	8.3	0.0	8.3
	カラマツ	0.0	0.0	△ 50.0
	トドマツ	25.0	25.0	25.0

・スギ原木の入荷は3ヵ月連続して増加、ヒノキは3月の横ばいが4月、5月は増加に、カラマツ、トドマツは3月の増加が4月、5月は横ばいに。

・スギ及びヒノキの消費は3ヵ月連続して減少、カラマツは3ヵ月連続して増加、トドマツは3月の増加が4月、5月は横ばいに。

・スギ及びトドマツの在庫は3ヵ月連続して増加、ヒノキは3月の増加が4月は横ばい、5月は増加、カラマツは3月、4月の横ばいから5月は減少。

## (2) 製材原木価格動向 Weight. D. I.

品目	27年3月	4月	5月
スギ	△ 28.1	△ 25.0	△ 25.0
ヒノキ	△ 25.0	△ 16.7	△ 8.3
カラマツ	0.0	0.0	0.0
トドマツ	0.0	0.0	0.0

・スギ及びヒノキの原木価格動向は総じて弱含みで推移、カラマツ及びトドマツは横ばいで推移。

## モニターからのコメント

## '(原木荷動き)

・車両不足、降雪で搬出可能時期が短くなったことで、カラマツ、トドマツの入荷総量は例年に比べ少ない。山にあるが運べない状態。木質バイオマス材の集荷は、2年間の補助対象期間内で年間使用量の半分も集められないようなので、実際稼働したらどうなるか？如何に未利用用材と言えど、現在のパルプと同様の価格で集めることはできない。消費は、国内パレットは堅調に推移、輸出梱包は円安の割に復調していない。建築は着工数が前月割れしており不調。

・トドマツは入材順調、早めの暖気で出材不安。早めの暖気で生産増、山土場から出材できるか不安。

・スギ、ヒノキの入荷は、全般的にやや増加、生産計画は当初予定どおりで調整せず。

・スギ丸太在庫やや増、売れ行き悪い。

・ヒノキの出材減少も、並材価格は変化なし。

・スギ、ヒノキとも入荷は前月と同じ流れ、ヒノキは段々と減らしている。消費は相変わらずヒノキ柱を先頭に荷動きは低調極める、スギ在庫は生産調整のため仕入れを控えてもヒノキはやや増加気味。

・現状スギ出材が増えている、製品の売れ行き悪く、稼働率を上げる方向性にならない、徐々に丸太在庫増えてきた。

・潤沢に出材あるが、製品動向が芳しくなく価格低迷し、出材は減少するのでは。消費は原木入荷に比例して少し減少。

・3月、4月は記念市があるのでやや原木は市場に出る、韓国行きのヒノキ原木の買いが旺盛で価格をつり上げている。出来ただけは売れる。

・製材が少しにぶくなったため消費はやや減。

(原木価格)

- ・表面単価は変化ないが、特にカラマツは集荷量が不足で集荷エリアを拡大しており、実質運賃が上がるためコストは上昇。
- ・トドマツ国有林公売価格は高値安定。
- ・スギ、ヒノキは売上げ不振でやや下落予想。
- ・出材多くなり下げ。
- ・並材は安値安定。
- ・ヒノキは柱A品などが最安値更新。
- ・スギ丸太の値下げ交渉中。
- ・価格は横ばい、4m、16cm上～30cmの長材、やや曲がり材はほとんどが韓国行き、市場価格よりm3当り1,000円高。

## 27年3月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

## (3) 製材品荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27年3月	4月	5月
生産動向	スギ	△ 6.3	△ 6.3	△ 6.3
	ヒノキ	△ 25.0	△ 8.3	0.0
	カラマツ	50.0	50.0	50.0
	トドマツ	0.0	0.0	0.0
出荷動向	スギ	△ 25.0	△ 18.8	△ 6.3
	ヒノキ	△ 41.7	△ 16.7	0.0
	カラマツ	50.0	50.0	50.0
	トドマツ	0.0	0.0	0.0
在庫動向	スギ	28.6	28.6	7.1
	ヒノキ	30.0	20.0	10.0
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	0.0	0.0	0.0

・スギ製材品の生産は3ヵ月連続して減少、ヒノキは3月、4月の減少が5月は横ばい、カラマツは3ヵ月連続して増加、トドマツは3ヵ月連続して横ばい。

・スギ製材品の出荷は3ヵ月連続して減少、ヒノキは3月の大きな減少が4月は減少幅を小さくし、5月は横ばい、カラマツは3ヵ月連続して増加、トドマツは3ヵ月連続して横ばい。

・スギ及びヒノキ製材品の在庫は3ヵ月連続して増加、カラマツ及びトドマツは3ヵ月連続して横ばい。

## (4) 製材品出荷価格動向 Weight. D. I.

品目		27年3月	4月	5月
スギ	柱角 KD10.5×3	△ 43.8	△ 37.5	△ 31.3
	柱角 KD12×3	△ 50.0	△ 37.5	△ 31.3
	通し柱 12×6	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0
	桁角	△ 14.3	△ 28.6	△ 28.6
	母屋角	△ 21.4	△ 21.4	△ 21.4
	タルキ	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3
	間柱	△ 35.7	△ 35.7	△ 35.7
	ヌキ	△ 16.7	△ 25.0	△ 25.0
	平割	△ 16.7	△ 25.0	△ 25.0
	ラミナ	△ 16.7	△ 16.7	△ 16.7
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	△ 58.3	△ 33.3	△ 25.0
	柱角 KD12×3	△ 41.7	△ 33.3	△ 25.0
	土台角 10.5×4	△ 50.0	△ 33.3	△ 25.0
	土台角 12×4	△ 50.0	△ 33.3	△ 20.0
	通し柱 12×6	△ 16.7	△ 33.3	△ 33.3
	ラミナ	△ 25.0	△ 50.0	△ 50.0
カラマツ土台角10.5×4	—	—	—	
〃 梱包仕組み板	0.0	50.0	0.0	
〃 ラミナ	0.0	0.0	0.0	
トドマツサンギ	0.0	0.0	0.0	

・スギ製材品の出荷価格は、全品目が弱含みで推移。

・ヒノキ製材品の出荷価格は、全品目が弱含みで推移。

・カラマツ梱包仕組み板は3月の横ばいが4月の強含みから5月は横ばいに、カラマツラミナは保合で推移。

・トドマツサンギは保合で推移。

## モニターからのコメント

## (製材品荷動き)

- ・トドマツの生産受注堅調だが、年度末で少し荷動き鈍い印象。生産、即出荷続く。
- ・スギ、ヒノキは、生産は一定化する計画、販売不振で出荷減、ヒノキは特に販売不振で在庫増。
- ・スギ凍結材なくなり、設備増加分増える。
- ・ヒノキ生産は通常通り、出荷は2月より3月の方が若干動きあり。
- ・年度が替わると補助金などの絡みもあり、需要は上むく。
- ・売れ行き悪く、稼働率を上げる雰囲気ではない、ここ数年では最悪と言える荷動き、思い切った値下げしないと在庫はたまるばかり。
- ・弱含みのため生産調整に入るメーカーも出てくる可能性あり、出荷は時期的なものもあるが例年に比べ元気がない、動き、流れがなかなか読みづらく、在庫増は致し方なし。
- ・受注が全国的に減っている。

(製材品出荷価格動向)

- ・カラマツ土台角は、運賃上昇傾向で、4月には製材値上げを実施する。
- ・トドマツサンギは価格安定。
- ・スギ柱角は販売不振で価格下落、間柱も外材との競争で価格下落、ヒノキは販売不振で価格下落。
- ・スギ柱角、客の言い値が下値 (@45,000) を言うてくる。
- ・ヒノキの価格の変わるような動きなし。
- ・スギはヒノキより需要が安定している。ヒノキ特に105mm×3m~4mが安い(但し値下げしても売れない状態)
- ・スギの見積もり、問い合わせが少ないため、これまで通りの単価設定では成約とならない、ヒノキ量産メーカーが処分単価で在庫を放出しているようで価格が崩れている。
- ・ヒノキ売れない。

## 27年3月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 3

イ. 外材

## (1) 製材用原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27年3月	4月	5月
仕入動向	米マツ丸太	△ 50.0	△ 100.0	100.0
	NZラジアータ	—	—	—
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—
消費動向	米マツ丸太	0.0	50.0	100.0
	NZラジアータ	—	—	—
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—
在庫動向	米マツ丸太	0.0	△ 50.0	0.0
	NZラジアータ	—	—	—
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—

・米マツ丸太の仕入れは3月、4月の減少が5月は増加に。

・米マツ丸太の消費は3月の横ばいが、4月、5月は増加に。

・米マツ丸太の在庫は3月の横ばいが、4月の減少を経て5月は横ばい

## (2) 製材用原木等購入価格動向 Weight. D. I.

品目	27年3月	4月	5月
米マツ丸太	△ 50.0	△ 100.0	0.0
NZラジアータ丸太	—	—	—
北洋エゾマツ丸太	—	—	—
北洋アカマツ丸太	—	—	—
北洋アカマツ原板	—	—	—

・米マツ丸太の購入価格は3月、4月の弱含みが5月は横ばいに。

## モニターからのコメント

(原木荷動)

(原木価格動向)

27年3月分

## 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 4

## (3) 製材品の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27年3月	4月	5月
生産動向	米マツ製材品	0.0	50.0	100.0
	NZラジアータ製材品	—	—	—
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
	北洋アカマツ製材品	—	—	—
出荷動向	米マツ製材品	0.0	50.0	100.0
	NZラジアータ製材品	—	—	—
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
	北洋アカマツ製材品	—	—	—
在庫動向	米マツ製材品	50.0	50.0	0.0
	NZラジアータ製材品	—	—	—
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
	北洋アカマツ製材品	—	—	—

- ・米マツ製材品の生産は3月の横ばいが、4月、5月は増加に。
- ・米マツ製材品の出荷は3月の横ばいが、4月、5月は増加に。
- ・米マツ製材品の在庫は3月、4月の増加が、5月は横ばいに。

## (4) 製材品の出荷価格動向 Weight. D. I.

品目		27年3月	4月	5月
米マツ平角		△ 50.0	△ 50.0	0.0
米マツ正角		50.0	50.0	0.0
米マツ小割		0.0	0.0	0.0
北洋エゾマツタルキ		—	—	—
北洋アカマツタルキ		—	—	—
NZ梱包材(割板)		—	—	—
NZ梱包材(割角)		—	—	—
NZ土木用材		—	—	—
その他		—	—	—

- ・米マツ平角の出荷価格は3月、4月の弱含みが5月は横ばい。
- ・米マツ正角の出荷価格は3月、4月の強含みが5月は横ばい
- ・米マツ小割の出荷価格は3ヵ月連続して横ばいで推移。

## モニターからのコメント

(製材品荷動き)

(製材品出荷価格動向)